

ハローワークの求人情報の  
オンライン提供について  
(民間職業紹介事業者)

---

# ハローワークの求人情報のオンライン提供について

労働市場全体としての求人・求職のマッチング機能を強化するため、ハローワークが保有する求人情報をオンラインで提供(平成26年9月1日より開始)

平成28年3月1日時点で1,153団体が利用  
(自治体278団体(44都道府県234市区町村)、職業紹介事業者525団体(有料489団体、無料36団体)、学校等350団体)

【平成27年度(4月1日～2月29日)実績】

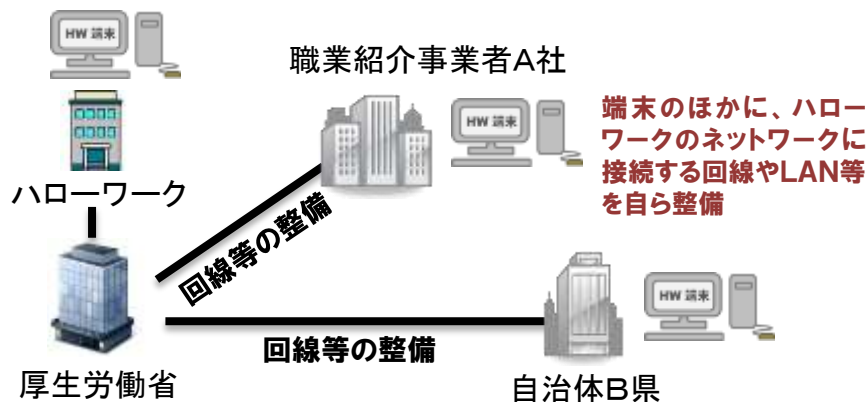
採用決定数3,981件(自治体;1,960件、民間職業紹介事業者794件(有料772件、無料22件)、学校等;1,227件)

## 実施方法(イメージ)

- 具体的な実施方法として、2つの方式(①求人情報提供端末方式、②データ提供方式)を準備。
- 民間人材ビジネス等は、希望に応じて、実施方式を選択できる(併用も可)ようにし、その利便性を高めている。

### ① 求人情報提供端末方式

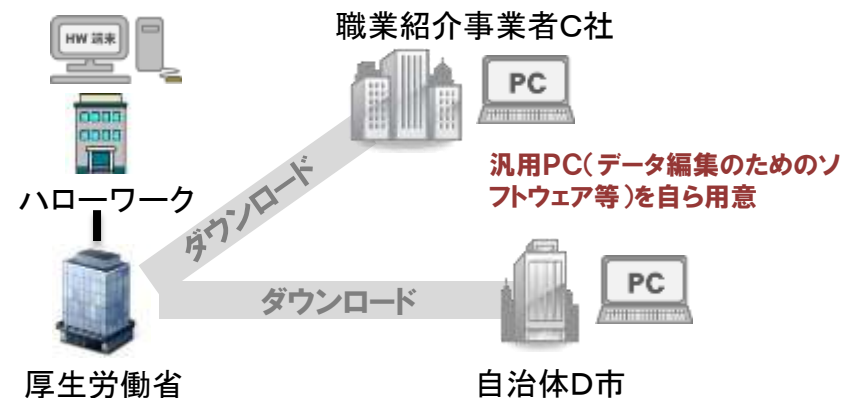
- ハローワークの求人情報提供端末と同等の端末を自ら設置していただく。



⇒ ハローワークの端末と同等の操作性

### ② データ提供方式

- 求人情報データをインターネット回線でダウンロード。汎用PCで当該データを使用。



⇒ 独自のデータ編集等が可能

# 求人情報オンライン提供実施民間職業紹介事業者への アンケート概要

## (1) 調査目的

求人情報のオンライン提供を利用している民間職業紹介事業者に、これまでの利用状況、課題等を確認し、今後のあり方の検討のための基礎資料とする。

## (2) 調査対象

平成26年9月1日時点で求人情報のオンライン提供を利用する全ての民間職業紹介事業者(330事業者)。

## (3) 調査方法

本省から各民間職業紹介事業者に対して郵送により調査。

## (4) 調査期間

平成28年2月5日～2月29日

## (5) 回答数

167事業者(回答率50.6%)

# 求人情報オンライン提供に関するアンケート結果①

## 1 データの提供方法と加工、ダウンロード頻度について

- データ提供方法は、ほとんどの民間職業紹介事業者で「データ提供方式(CSV形式)」を選択している(表1)
- データ提供方式のうち、4割程度の民間職業紹介事業者がデータ加工をしている(表2)
- データ提供方式のうち、毎日ダウンロードしている民間職業紹介事業者は15%程度である一方、1週間に1～2回及び月に1～2回がそれぞれ20%程度、それ以下が40%程度となっている。毎日ダウンロードしない理由については、「データの編集に手間がかかるため」「掲載求人の内容に1日単位では大幅な変更がないため」「職業紹介、職業相談の機会が少ない(ない)ため」が多い(表3)

(表1:オンライン提供の方法(複数回答))

	機関数	(比率)
求人情報提供端末方式	18	10.3%
データ提供方式(API方式)	7	4.0%
データ提供方式(CSV方式)	149	85.6%
合計	174	100.0%

(表2:データ加工の有無・ダウンロードの頻度)

	機関数	(比率)
データ加工している	59	41.3%
データ加工していない	84	58.7%
毎日ダウンロードしている	22	14.6%
1週間に1、2回程度ダウンロードしている	35	23.2%
月に1、2回程度ダウンロードしている	32	21.2%
ほとんど又は全くダウンロードしていない	62	41.1%

(表3:毎日ダウンロードを実施していない理由(複数回答))

	機関数	(比率)
データの編集に手間がかかるため	47	24.0%
掲載求人の内容に1日単位では大幅な変化がないため	40	20.4%
職業紹介、職業相談の機会が少ない(ない)ため	34	17.4%
データのダウンロードに手間がかかるため	22	11.2%
(ほぼ)事業所の求人により職業紹介を行っており、必要性が低い	20	10.2%
指定されたダウンロード時間帯にダウンロードできないため	20	10.2%
その他	13	6.6%

# 求人情報オンライン提供に関するアンケート結果②

## 2 民間職業紹介事業者の利用者への求人情報の提供方法について

- 利用者への求人情報の提供方法は、「ダウンロードしたデータを直接閲覧させず、相談時に社員の手持ちとして利用」が多く、次に「求人情報を印刷したものを掲示・配布」が続いている(表4)

(表4:利用者への求人情報の提供方法(複数回答))

	機関数	(比率)
ダウンロードしたデータを直接閲覧させず、相談時に社員の手持ち情報として利用している	85	51.5%
求人情報を印刷したものを掲示・配布している	27	16.4%
端末を利用者が閲覧できるようにしている	19	11.5%
その他	34	20.6%
合計	165	100.0%

## 3 求人情報のオンライン提供を受けることとした理由

- 求人情報のオンライン提供を受けることとした理由は、「リアルタイムでハローワークの求人情報を得たかったため」が最も多く、次いで、「ハローワークインターネットサービスより詳細な情報が得られるため」、「事業所では十分な求人確保できないため」が多い(表5)

(表5:オンライン提供を受けることとした理由(複数回答))

	機関数	(比率)
リアルタイムでハローワークの求人情報を得たかったため	103	38.4%
ハローワークインターネットサービスより詳細な情報が得られるため	69	25.8%
事業所では十分な求人確保できないため	58	21.6%
事業所圏域外の求人情報が必要であったため	27	10.1%
その他	11	4.1%
合計	268	100.0%

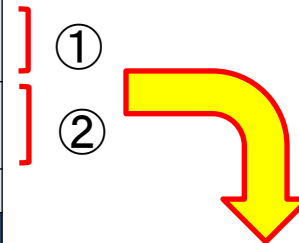
# 求人情報オンライン提供に関するアンケート結果③

## 4 求人情報のオンライン提供の評価と提供対象者、評価の理由

- 求人情報オンライン提供に関する評価は、4割程度の民間職業紹介事業者が「有意義である」と評価。一方で「有意義ではない」という回答も16%存在する(表6)
- 有意義であるとする評価の理由については、「利用者の満足感につながっている」「オンライン提供により職業紹介の実績が上がった、またはできるようになった」が多くなっている。一方で有意義ではないとする評価の理由については、「求人情報の利便性が低い」が多くなっている(表7)

(表6:オンライン提供の評価)

	機関数	(比率)	
大変有意義である	18	10.8%	39.7%
有意義である	48	28.9%	
あまり有意義ではない	23	13.9%	16.3%
全く有意義ではない	4	2.4%	
どちらともいえない	73	44.0%	44.0%
合計	166	100.0%	100.0%



(表7:①の評価の理由(複数回答))

	機関数	(比率)
利用者の満足感につながっている	42	54.6%
オンライン提供により職業紹介の実績が上がった、またはできるようになった	15	19.5%
その他	20	26.0%
合計	77	100.0%

(表7:②の評価の理由(複数回答))

	機関数	(比率)
求人情報の利便性が低い	10	29.4%
利用者のマッチングにつながっていない	7	20.6%
評価をするには期間が短い	4	11.7%
その他	13	38.2%
合計	34	100.0%

# 求人情報オンライン提供に関するアンケート結果④

## 5 職業紹介事業者の区分、採用数及び紹介手数料について

- ほとんどの民間職業紹介事業者が「有料職業紹介事業者」である(表8)
- 有料職業紹介事業者のうち9割が、オンラインで提供された求人情報を基にした採用決定人数は0人と回答(表9)
- 採用決定人数のある事業者について、求人者からの紹介手数料の額(平均)は年収の5%未満と15~20%未満が多い(表10)
- 採用決定人数のある事業者について、求人者からの紹介手数料の金額は10万円未満と40~60万円未満に二極化(表11)
- ※ 採用決定人数のある事業者について、求職者から紹介手数料を徴収している事業者はなし

(表8:職業紹介事業の種類)

	機関数	(比率)
無料職業紹介事業者	14	8.4%
有料職業紹介事業者	153	91.6%
合計	167	100.0%

(表10:求人者からの紹介手数料(予定年収に対する割合))

	機関数	(比率)
5%未満	5	35.7%
5~10%未満	2	14.3%
10~15%未満	1	7.1%
15~20%未満	5	35.7%
20~25%未満	0	0%
25~30%未満	1	7.1%

(表9:オンライン提供された求人情報による採用決定人数(注))

	機関数	(比率)
0人	133	90.5%
1人~10人	10	6.8%
11人~20人	2	1.4%
21人~100人	0	0%
101人~200人	1	0.7%
201人~300人	1	0.7%

(表11:求人者からの紹介手数料(1件当たりの金額))

	機関数	(比率)
5万円未満	4	28.6%
5~10万円未満	3	21.4%
10~15万円未満	0	0%
15~20万円未満	1	7.1%
20~30万円未満	1	7.1%
30~40万円未満	0	0%
40~50万円未満	3	21.4%
50~60万円未満	2	14.3%

〈注〉平成26年9月~平成27年11月の常用就職の累計



# 求人情報オンライン提供に関するアンケート結果⑤

## 【利用事業者の主な意見、活用方法等】

- 提供を受けたデータについては、地域及び職種などで絞り込んで活用している。
- 項目が多いので、重要な項目を一覧で見られるように加工している。
- 求人情報の提供がタイムリーに簡易にできるようになった。
- 求職者に転職先の幅を広げて提案できている。
- 求人市場の動向がわかるようになった。
- 雇用情勢や求人の状況を求職者に理解していただくのに有効。

## 【上手く活用できていない事業者の意見等】

- 求人数がハローワークインターネットサービスの求人数より少ない。
- 求人企業に求人の依頼をしても断られる。(有料での紹介を懸念される企業が多い。)
- CSVデータがそのままでは使いにくい。(使いやすくするための)加工の手間がかかる。

## 【改善要望】

- (求人情報提供端末方式について)固定IPアドレスの取得費用が課題。
- (データ提供方式について)データ項目数が多すぎて、加工に時間を費やしてしまうことが多く、あまり活用できていない。加工しなくても、簡潔にわかりやすく表示できるようにしてほしい。
- (データ提供方式について)ダウンロード時に市町村ごとのエリアや職種など選べると便利。
- (データ提供方式について)ダウンロード可能時刻を柔軟に対応していただけるとありがたい。
- 求人受理時の公開区分により、ハローワークと当社で確認できる案件数に違いがある。できるだけ多くの案件を閲覧できるようにしてほしい。
- 求人企業に対する周知活動(人材紹介会社から紹介が来ること)をもっと行ってほしい。